



新年のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えになられたことと、心からお慶び申し上げます。また平素より、市政に対し深いご理解とご支援、ご協力を賜っておりますことに対し、年頭にあたり厚くお礼申し上げます。

新年を迎え、愛する郷土うきはをこれからもしっかりと子や孫に引き継いでいかなければならないと決意を新たにしているところであります。

昨年を振り返りますと、一昨年より続く新型コロナウイルス感染症により、度重なる緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置による外出自粛など様々なことが制限され、私たちの日常生活や社会経済活動にも大きな影響を及ぼしました。うきは市では、浮羽医師会をはじめ、多くの関係者や市民の皆さまのご協力により、ワクチンの2回目接種も順調に終え、現在は追加接種（3回目接種）を実施しているところであります。皆さまには、引き続き感染予防のために、マスクの着用・三つの密の回避等の対策に努めていただきますようよろしくお願いいたします。

また、昨年も大雨など自然災害の多い年でありました。うきは市におきましても、8月11日から8月19日までの9日間で、妹川観測所において971ミリメートルの雨量を観測し、年間降水量の半分もの記録的な雨が降ったところです。この大雨により、道路・農地・農作物等に多くの被害が発生いたしました。現在、一日も早い復旧に全力をあげて取り組んでいるところであり、今後とも、災害対応等危機管理には万全の体制を図って参りたいと思っておりますので、市民の皆さまには大変ご迷惑をお掛けしますが、ご理解・ご協力の程よろしくお願いいたします。

さて、うきは市の中核拠点である「道の駅うきは」が、九州じゃらん「九州・山口道の駅ランキング2021」において、6年連続で総合1位を獲得しました。6月には全国で39か所、福岡県唯一の「防災道の駅」に選定され、11月には隣接地に世界最大手のホテル「マリオット・インターナショナル」の進出が決まるなど、嬉しい知らせが相次ぎました。

福岡県企業局が造成・分譲する「久留米・うきは工業団地」については、進出が決定していた株式会社筑水キャニオムの新築工事が6月に竣工し、8月より稼働が開始されております。そして、木材のリサイクル事業に取り組んでおり、木材チップの生産量が九州一である中山リサイクル産業株式会社と11月に立地協定を締結したところです。

8月には、うきは市営高見団地が、市営団地としては初の5階建て高層住宅として完成しました。さらに、かねてから推進していた屋形古墳群整備事業の核となるガイダンス広場が、歴史的資源のふれあい施設として完成しました。



うきは市長
高木典雄

また、うきは市吉井町在住の朝久泰央選手（朝久道場）が、福岡国際センターで7月に開催された「K-1 WORLD GP 2021」世界ライト級タイトルマッチで勝利し、第5代ライト級世界王者になりました。WLF武林風60Kg級世界王者である兄の朝久裕貴選手ともども、今後の活躍が期待されるところです。

令和4年を迎え、かねてから国土交通省により整備が進められていた大石分水路築堤工事が完成いたします。西側には夕日が望めるスポットも確保されており、市民の皆さまの憩いの場になるものと思っております。

また、「久留米・うきは工業団地」に進出が決定している株式会社資生堂においては、5月に稼働開始が予定されております。うきは市におきましても雇用の創出等、経済効果が期待されているところです。

一方で、新型コロナウイルス感染症対策、自然災害への対応、若年層の人口減少対策、地域経済の活性化対策、デジタル化対策、縮小社会に対応した身の丈にあった行財政運営等、まだまだ大きな課題が山積しているところです。これらの課題について、市民の皆さまや企業をはじめとした各種団体の皆さまとともに、その問題の所在を共有して、アフターコロナ時代を見据えるなど大きな時代の流れを的確に捉え、官民協力や地域連携を積極的に図りながら解決していくことが求められています。活力と魅力あるまちづくりを進めるにあたっては、うきは市の地域としての価値をどのようにして創造し、伸ばしていくかが大きなポイントだと考えております。地域には、そこにある「もの」（地域資源）と、そこに住んでいる「ひと」しかいないのであり、そこをどうブラッシュアップしていくかが課題であります。そして、今後のまちづくりは、地域にあるものを活かして自立していく「内発的発展」と「地域力創造」へと変わらなければならないと強く思っています。

市民の皆様には一層のご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、本年が皆様にとって幸多き素晴らしい年となりますことを心より祈念いたしまして、新年の挨拶といたします。